

受理年月日	平成26年6月24日	付託年月日	平成26年6月25日	所管委員会	第2委員会
番号	26年請願第9号				
件名	国立病院の充実・強化を求める意見書議決及び国立病院の医師等必要人員の確保について				
請願者	博多区博多駅前四丁目6-7 全日本国立医療労働組合福岡地区協議会 代表者 原 正勝 外 3人				
紹介議員	中山、熊谷、綿貫、星野、宮本、高田、池田、落石、荒木				
分割付託	なし				
要旨	<p>独立行政法人国立病院は、国民死亡率の上位を占めるがん・脳卒中・心疾患などの高度医療の実施とともに、地域の医療機関と連携して地域医療を支える役割を果たしています。</p> <p>また、経営的に困難な重症心身障がい児（者）、精神、小児救急など政策医療においても、重要な役割を果たしており、今後も国立病院がこの役割を担っていくことが必要です。</p> <p>本市には国立病院が3施設（福岡病院、九州医療センター、九州がんセンター）あり、福岡病院は免疫・アレルギーの基幹施設、成育医療、重心の専門医療施設として機能付与されており、地域医療機関との病診連携を図り地域医療のニーズに対応しています。一般病棟（248床）、重病棟（120床）を有し、本市内からの入院患者は一般病棟1,662名（平成25年4月～同年12月）で、重病棟はほぼ満床となっており、重症心身障がい者（児）のショートステイも受け入れています。</p> <p>九州医療センターは九州全域を診療圏とする高度先駆的医療施設として1994年に設立され、病床数は702床を有し、本市内から入院患者10,232名、外来患者151,987名（平成24年4月～平成25年3月）を受け入れています。</p> <p>九州がんセンターは1972年に九州における唯一のがん専門施設として設立され、2002年には地域がん診療拠点病院の指定を受け、一般総合病院等では担うことができないがん、特に進行性がん、難治性がんの診療に力を入れています。病床数は一般411床で、本市内から入院患者1,386名、外来患者3,154名（平成24年4月～平成25年3月、国保・後期高齢者医療の患者数に限る《全体の53%》）です。</p> <p>このように本市内からの患者を多く受け入れ、国立病院は本市の地域医療にとって欠かすことのできないものです。</p> <p>しかし、国からの運営費交付金は2012年度より診療事業にかかわるものは措置されなくなり、国立病院は独立採算で運営することが求められるようになりました。</p> <p>国の方針で不採算医療も担っている国立病院が、経営状況によっては病床の削減や、病院の統廃合も行われる可能性があります。</p> <p>今、必要とされていることは、地域医療の縮小・削減ではなく憲法第25条に基づいて、いつでも・どこでも・だれでも安心して医療を受けられる環境整備であり、国立病院が廃止や縮小をされ、地域医療の崩壊とならないよう、以下の事項について請願します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 政府と関係省庁に対し国立病院の充実・強化を求める意見書を提出すること。 2. 国立病院が医師、看護師を初めとする必要人員を確保するよう、本市から国立病院機構を初め関係機関に要請すること。 				
審査年月日	平成 年 月 日	結 果		委員会	平成 年 月 日
	平成 年 月 日			本会議	
	平成 年 月 日			平成 年 月 日	

平成26年 6月24日

福岡市議会議長

森 英鷹 様

【請願人】

団体名 全日本国立医療労働組合福岡地区協議会

代表者名 原 正勝

住所 福岡市博多区博多駅前4丁目6の7号

連絡先 Tel.092-471-0826 Fax092-411-5486

[Redacted]

請願の趣旨

常日頃から地域医療の充実強化にご尽力いただき、感謝申し上げます。

独立行政法人国立病院は、国民死亡率の上位を占めるがん・脳卒中・心疾患などの高度医療の実施と共に、地域の医療機関と連携して地域医療を支える役割を果たしています。

また、経営的に困難な重症心身障害児（者）、精神、小児救急など政策医療においても、重要な役割を果たしており、今後も国立病院がこの役割を担っていくことが必要です。

福岡市には国立病院が3施設（福岡病院、九州医療センター、九州がんセンター）あり、福岡病院は免疫・アレルギーの基幹施設、成育医療、重心の専門医療施設として機能附与されており地域医療機関との病診連携を図り地域医療のニーズに対応しています。一般病床（248床）、重病棟（120床）を有し、福岡市内からの入院患者は一般病棟1662名（平成25年4月～同年12月）で、重病棟はほぼ満床となっており、重症心身障害者（児）のショートステイも受け入れています。

九州医療センターは九州全域を診療圏とする高度先駆的医療施設として1994

年に設立され、病床数は702床を有し、福岡市内から入院患者10232名、外来患者151987名（平成24年4月～平成25年3月）を受け入れています。

九州がんセンターは、1972年に九州における唯一のがん専門施設として、設立され2002年には地域がん診療拠点病院の指定を受け、一般総合病院等では担うことが出来ない「がん」、特に「進行性がん」「難治性がん」の診療に力をいれています。病床数は一般411床で、福岡市内から入院患者1386名、外来患者3154名（平成24年4月～平成25年3月、国保・後期高齢者医療の患者数に限る《全体の53%》）です。

このように福岡市内からの患者を多く受け入れ、国立病院は福岡市の地域医療にとって欠かすことの出来ないものです。

しかし、国からの運営費交付金は2012年度より診療事業に関わるものは措置されなくなり、国立病院は独立採算で運営することが求められるようになりました。

国の方針で不採算医療も担っている国立病院が、経営状況によっては病床の削減や、病院の統廃合も行われる可能性があります。

今、必要とされていることは、地域医療の縮小・削減ではなく憲法第25条に基づいて、いつでも・どこでも・だれでも安心して医療を受けられる環境整備であり、国立病院が廃止や縮小をされ、地域医療の崩壊とならないよう、充実・強化が図られるよう求めます。

貴職におかれましては、これらの現状ならびに意見を真摯に受け止めていただき、地域医療の充実のため国立病院の充実・強化が図られるよう以下の事項について請願します。

請願事項

- 1、政府と関係省庁に対し国立病院の充実・強化を求める意見書を提出してください。
- 2、国立病院が医師、看護師をはじめとする必要人員を確保するよう、福岡市から国立病院機構をはじめ関係機関に要請してください。

以上

国立病院の充実・強化を求める意見書（案）

独立行政法人国立病院は、国民死亡率の上位を占めるがん・脳卒中・心疾患などの高度医療の実施と共に、地域の医療機関と連携して地域医療を支える役割を果たしています。

また、経営的に困難な重症心身障害児（者）、精神、小児救急など政策医療においても、重要な役割を果たしており、今後も国立病院がこの役割を担っていくことが必要です。

しかし、国からの運営費交付金は2012年度より診療事業に関わるものは措置されなくなり、国立病院は独立採算で運営することが求められるようになりました。

国の方針で不採算医療も担っている国立病院が、経営状況によっては病床の削減や、病院の統廃合も行われる可能性があります。

今、必要とされていることは、地域医療の縮小・削減ではなく憲法第25条に基づいて、いつでも・どこでも・だれでも安心して医療を受けられる環境整備であり、国立病院が廃止や縮小をされ、地域医療の崩壊とならないよう、充実・強化されるよう求めます。

よって、国会及び政府においては、地域医療の充実のため国立病院の充実・強化を図るよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成 年 月 日

福岡市議会